

「係り受け解析」と「照応解決」

10月27日（水）学校訪問における先生方の学習指導案を何度も読ませていただきました。指導案には、リーディングスキルテストの結果から分析した各学年各学級ごとの課題をもとに、授業で取り上げる視点が明記されています。以下にまとめてみました。

教科	1年	2年	3年
国語	係り受け解析 具体例同定	照応解決 推論 イメージ同定	係り受け解析 推論
社会	係り受け解析 照応解決 イメージ同定	同義文判定 イメージ同定	係り受け解析
数学	イメージ同定	照応解決	イメージ同定 具体例同定
理科	同義文判定 推論	推論 イメージ同定	推論 イメージ同定
英語	照応解決 具体例同定	具体例同定	イメージ同定 具体例同定
音楽		イメージ同定	
美術		同義文判定 推論	
保体	推論	イメージ同定	具体例同定
道徳			推論 イメージ同定
学年別	係り受け解析 2 照応解決 2 同義文判定 1 推論 2 イメージ同定 2 具体例同定 2	係り受け解析 0 照応解決 2 同義文判定 2 推論 3 イメージ同定 5 具体例同定 1	係り受け解析 2 照応解決 0 同義文判定 0 推論 3 イメージ同定 4 具体例同定 3
全体	① イメージ同定 11 ② 推論 8 ③ 具体例同定 6 ④ 係り受け解析 4 ④ 照応解決 4 ⑥ 同義文判定 3	【学年ごとの傾向】 教科による傾向は特に見られませんが、学年別や全体となるとどうでしょう。1年生では、6つの視点がバランスよく取り上げられています。2年生になると、係り受け解析は0ですが、イメージ同定が5です。3年生は、RST未実施のため、視点を絞り込むことが難しかったと思います。照応解決と同義文判定が0というのが特徴です。	

【「係り受け解析」と「照応解決」は毎時間意識して】

全体を見ると、イメージ同定と推論で半数以上を占めています。すなわち、イメージ同定「文章や図やグラフと比べて内容が一致しているかどうかを認識する能力」と推論「基本的知識と常識を動員して文の意味を理解する力」を意識した授業が多いということです。

ここで、確認したいことは、6つの視点のうち、「係り受け解析」と「照応解決」が読解力の基礎となる2項目であるということです。授業で改めて取り上げなくても、この2つの視点は、常に意識して授業を行っていききたいものです。